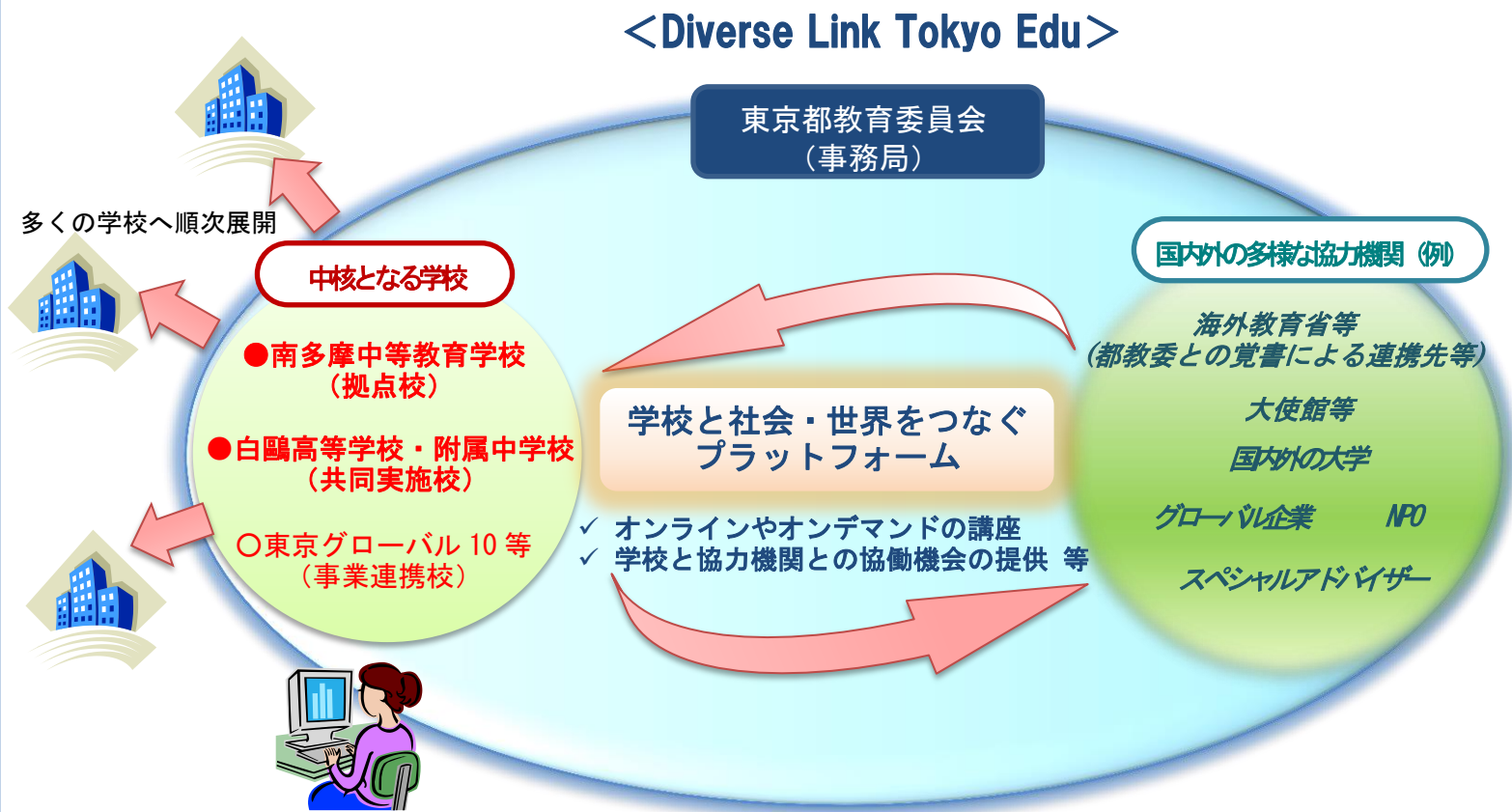


高度で創造的な探究学習を社会・世界と連携して提供する『Diverse Link Tokyo Edu』の構築




新たな時代に対応できるグローバル人材を育成するための現状と課題

- TOKYO GLOBAL GATEWAY や TEEP など実践的な英語の学習機会を提供しているが、発展的な学びを通して、より高い英語力を伸長する必要
- Society5.0 を見据え、深い思考と協働力、創造性を培う高度な学びを提供することが必要
- 東京に集積する多様な資源を活用し、体験的な探究学習を開発することが必要

都独自の「学びのプラットフォーム」の構築



取組の方向性

- 1) 先進的な教育手法の活用
 - CLIL (内容言語統合型学習)
 - STE(A)M^{*}教育
※Science, Technology, Engineering, Art, and Mathematics
- 2) 実社会や世界の知見に触れる機会
 - 都独自の文理融合の「探究学習」カリキュラムを、協力機関と共同開発
 - 研究者や企業による論文やプレゼン指導
 - 企業や研究室訪問
- 3) 主体的・対話的な学び方
 - 海外の姉妹校や国内の地方の学校との協働プロジェクト
 - 企業等から提示された課題等に高校生が提案
- 4) 高校生国際会議
 
- 5) 『Tokyo Leading Academy』